令和6年度　年間授業計画

教　科：国語　　科　目：論理国語　　単位数：２単位

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	新編論理国語（大修館書店）
	補助教材：	新編論理国語学習ノート、新編論理国語学習ノート小説編

教科（　国語　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目（　論理国語　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和6年度　年間授業計画　科目（　論理国語　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	単元　論理	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。	論理的な文章				論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	「知の登山、知の水路」「論理的な人とはどういう人か」				「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	自ら進んで論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説						○	○	○	2
	単元　具体と抽象	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係を捉える。	論理的な文章				具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係を捉える助けとしている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	「ウサギの耳はなぜ長い？」「記号的メディアと物理的メディア」				「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	自ら進んで筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係を捉えようとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係を捉えようとしている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　論理国語　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
2学期	単元　主張と根拠	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。	論理的な文章				主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	「文化としての科学」「『考える葦』であり続ける」				「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	自ら進んで主張と根拠の関係を的確に捉えながら、筆者の考えを読み取ろうとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				主張と根拠の関係を的確に捉えながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。				
	単元　論理的に書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	小論文における、根拠を明確にしながら主張を論理的に書く方法や、主張と根拠を示す接続表現について理解する。	小論文				小論文における、根拠を明確にしながら主張を論理的に書く方法や、主張と根拠を示す接続表現について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にし、構成を考えながら書く。	根拠をふまえて書く　構成を考えて書く				「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にし、構成を考えながら書いている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	自ら進んで小論文を書くことに興味をもち、説得力のある文章を書くための適切な構成のしかたを理解しようとする。また、根拠や論拠の吟味を重ね、主張を明確にして構成を考えながら書こうとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				小論文を書くことに興味をもち、説得力のある文章を書くための適切な構成の仕方を理解しようとしている。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説						○	○	○	2
	単元　対比	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	対比を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で対比の関係を捉える。	論理的な文章				対比を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で対比の関係を捉える助けとしている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	「米の種類と食文化」「対話の精神」				「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	自ら進んで対比の関係を的確に捉えながら、筆者の考えを読み取ろうとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				対比の関係を的確に捉えながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　論理国語　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
3学期	単元　自己を見つめる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	14
	知識及び技能	指導事項				知識・技能				
	自らの考えを論証するために必要な語句の働きを理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。	論理的な文章				自らの考えを論証するために必要な語句の働きを理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
	「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	「補助線を引きながら考える」「山月記」				「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	自ら進んで筆者の示す現代社会の問題を自分事として捉え、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活でのさまざまな問いに対して補助線を引いて積極的に考えようとする。	小テスト、課題の提出、語句調べ				筆者の示す現代社会の問題を自分事として捉え、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活での様々な問いに対して補助線を引いて積極的に考えようとしている。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○	○	2
										合計
										70